

第4学年 松組 算数科「分けた大きさの表し方を考えよう」略案

指導者 齋藤奈保子 菊地薫

1. 日時 10月20日 5校時(1:15~2:00)
2. ねらい 単位量を超える大きさでも分数で表せることを知り，真分数，仮分数の意味を理解することができる。
3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
1:15	1. 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">1より大きい分数の表し方を考えよう。</div>		1より大きい分数の表し方を考えることができるように，数直線を提示して問題を提示していただく。	数直線掲示用学習シート
1:20	2. 自力解決する。	つまづいている子供には，ヒントを与えたり，テープ図を用いて説明したりする。 答えだけではなく，自分の考えを説明できるようにまとめることを助言する。	自力解決ができた子供の説明を聞き，わかりやすく説明できるようにアドバイスをしていただく。	テープ図
1:30	3. 考えたことを発表しあい，真分数，仮分数について知る。	もとになる大きさのいくつ分であるかをおさえる。 数直線に表すことによって，大きさの関係が分かるようにする。		
1:45	4. 練習問題を解く。	真分数，仮分数を理解できるような練習問題を準備する。 1より大きい数を分数で表すことができたか。 真分数・仮分数について理解できたか。	本時の学習内容を確認められるような問題を出していただく。	
1:55	5. ふり返りをする。			

